


【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	神奈川県
取組市町村名 取組団体・企業名	平塚市
取組の名称	野菜を食べようプロジェクト
実施時期	令和4年6月2・7・9・14・16・21日（計6日）
取組内容	<p>【目的】生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施するため、野菜の摂取量が少ない年代(20~40歳代)に1日の野菜必要量の確認、摂取勧奨を行います。また、平塚市の地場産野菜情報について、地場産農産物普及キャラクターを用い掲示しました。</p> <p>【対象者・参加者】幼児健診受診の保護者（1歳6か月児健診及び3歳児健診） 256人</p> <p>【内容】食品及び料理のフードモデルやポスターを用いて、1日に必要な野菜の量や地場産野菜についての普及を行いました。地場産農産物普及キャラクター「ベジ太」は平塚市小学校給食のメニュー名に登場するなど、若い世代になじみがあり、保護者や子どもたちの関心を引く様子が見られました。平塚市食育推進計画関係各課がそれぞれの事業で取り組んでいることが相乗効果となって普及啓発につながっています。</p>

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	神奈川県
取組市町村名 取組団体・企業名	小田原市
取組の名称	地元小学校への魚食普及の取組
実施時期	6月14日
取組内容	<p>地元小学校の児童に対し、小田原の水産業についての講座と、市が管理する市場の施設見学を実施した。</p> <p>水産業の講座の中で、需要拡大の余地のある「未利用・低利用魚」についても紹介し、食べてみるとおいしい魚が多いことを説明した。</p> <p>「未利用・低利用魚」の有効活用の一環として、平成26年に、「小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会」で開発した「かます棒」の成り立ちについて説明し、かます棒の特徴である、中骨を特殊な器具で抜き取る体験をしてもらった。</p> <p>体験後は職員が調理を行い、かます棒を試食してもらい、小田原の地魚の美味しさを実感してもらった。</p>
	 <p>※「小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会」Instagramより</p>